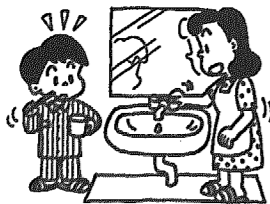


なぜ、省エネが必要か？

社会のエネルギー消費の増加が、CO₂（二酸化炭素）など温室効果ガスの増加につながり、地球温暖化を進めています。1997年12月に京都で開催された地球温暖化防止会議において、日本は温室効果ガスの排出を1990年比で6%削減することを約束。産業界のみならず、個人や家庭におけるCO₂削減の努力が不可欠です。家庭で使用するガスやガソリンなどの燃料はもちろん、石油などの化石燃料を燃やして発電する電気の消費もCO₂の発生につながってしまうのです。

「水の惑星」といわれる地球。しかし、その水の約97%は海水です。淡水はおよそ3%にすぎません。しかも、淡水のなかで私たちが利用できるのは、河川・湖沼・地下水の一部で、わずか0.8%でしかないのです。そのほかの淡水のほとんどは、南極や北極の水です。

水は蛇口をひねれば出てくるのが当然。でも、災害、水不足など不測の事態に遭ったときに、それは当たり前のことではなくなります。私たち人間はもとより地球上のあらゆる生物にとって必要なものは、まず水。水は生命の源



です。「水のある暮らしは当たり前前」ではなく、「水は暮らしに欠かすことのできないもの」として、ふだんから水を無駄遣いしないよう心掛けましょう。

水は貴重な財産

私たちが利用できるのは地球上の淡水のわずか0.8%

生命の水

家族で見直し

地球温暖化を防ぐために不可欠です。

照明

●ムダな明かりはOFFに
だれもいない部屋の照明や、必要のない明かりはこまめに消しましょう。照明は白熱灯より蛍光灯のほうが消費電力が少なく済みます（白熱灯の3分の1以下）。点灯時間の長い部屋は蛍光灯を使うと経済的です。



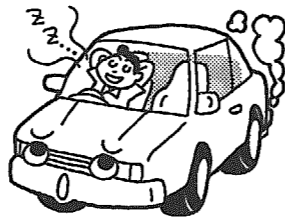
風呂・洗濯

- お湯を何度も温め直さなくてすむように、お風呂はなるべく家族で続けて入る。
- シャワーは流しっぱなしにしないように心がけましょう。
- 洗濯機に洗濯ものを入れすぎないように注意。汚れが落ちにくくなるうえ、電気の無駄になります。
- 洗濯には、お風呂の残り湯を活用。



自動車

- 駐停車時のアイドリング、空ぶかしや急発進はやめましょう。
- 重い荷物を積んだままだったり、タイヤの空気圧が適正でなかったりすると、燃費が落ちてガソリンのムダづかいになります。
- 近距離の外出はなるべく徒歩や自転車で。遠距離は公共交通機関を利用する。



<番外編>

オフィス

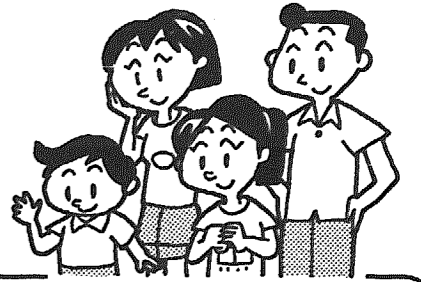
- 暑さをしのぎやすい服装（半そで・ノーネクタイなど）で仕事をし、室内の冷暖房は適温（28℃）に。
- 必要のない明かりは消しましょう。
- コンピュータやコピー機などのつけっぱなしはやめましょう。操作していない時は、こまめに電源をOFFに。
- コピーやシュレッダーなどの使用は必要最小限に。
- 最寄りの階への移動には、エレベーターを利用せず階段を使う。



ライフスタイル

資源節約は家計の節約にもつながります。

たくさんのエネルギー消費に支えられているわたしたちの暮らし。しかし、エネルギーには限りがあり、地球温暖化など環境への悪影響も現れています。いま必要なのは、ライフスタイルの再点検と、ちょっとした工夫による省エネルギー。1年で最も電力消費の多い8月、家族みんなで省エネに取り組みましょう。



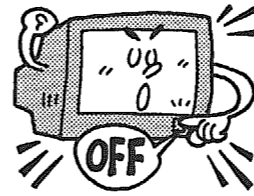
冷蔵庫

- 開閉は少なく早く
冷蔵庫を開けるたびに外の暖気が入り込み、冷却に電力を多く使います。開閉はなるべく少なく早く。また、熱いものは冷ましてから入れましょう。
- 詰め込み過ぎに注意
食品を詰め過ぎると、冷気の流れが悪くなります。例えば標準の2倍詰め込むと電力が約1割よけいにかかります。



テレビ

- 見ていない時は消す習慣を
時計代わりにつけていたり、見ていないテレビのつけっぱなしは電気のムダ。見ていないテレビはこまめに消し、長時間見ない時は主電源も切るようにします。

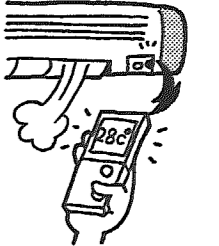


明るさや音は適度に調整

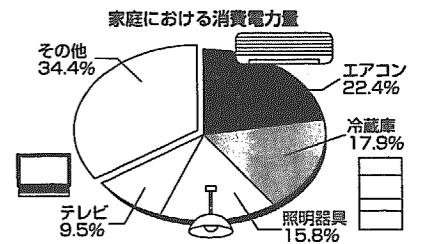
画面の明るさや音声を必要以上に明るくしたり大きくしたりするのは控えましょう。明るさと音声を「最大」から「普通」に戻すと、約2割の省エネになります。

エアコン

- 控えめが 省エネ&ヘルシー
室内の冷やしすぎは、エネルギーのムダづかいになるばかりか、体にもよくありません。エアコン使用中は、設定温度のこまめな調整を。冷房は28℃が適温（暖房は20℃）。消費電力が少ない除湿運転（ドライ機能）も活用しましょう。



- 風向きの調整で効率的に
送風口の風向き板を使って、効率的な冷房をしましょう。冷房時は送風を上向きにすると、室内の空気がうまく循環します（暖房時は下向きに）。
- フィルター掃除はこまめに
エアフィルターにほこりが詰まると、空気の流れが悪くなり、効率が落ちます。2週間に1度は掃除することを心がけましょう。
- 室外機は風通しのいい場所に
エアコンの室外機は風通しのいい場所に置きます。また、日よけをするなど直射日光が当たらない工夫も大切。排気口の前に障害物があったり、室外機が熱をもったりすると効率が落ちます。



待機電力に注意!

省エネルギーの話題でよく指摘されるのが、待機時消費電力（待機電力）。電気製品を利用してないのに、いつのまにか消費されている電力のことです。テレビ、ビデオ、ラジカセ、エアコンなどは、リモコンで電源を切った状態でも、主電源を切らない限り電気を消費し続けます。リモコン機能付きの機器だけではありません。わたしたちの身のまわりには、パソコン、炊飯器、電子レンジ、温水洗浄便座など、タイマーやメモリー装置が内蔵され、プラグを差し込んであるだけで電力を消費してしまっている製品があふれています。こうした待機電力の合計は、家庭で使われている電力の約1割を占めるという調査結果もあります。長時間使わない機器はこまめに主電源を切り、さらにコンセントからプラグを抜く習慣をつけることが大切です。

